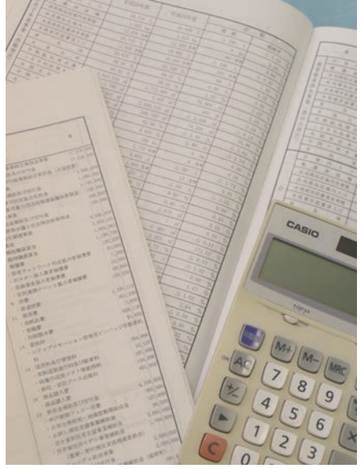
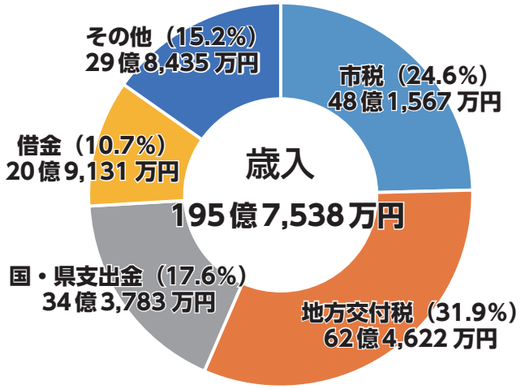
平成29年度西脇市
決算を報告します



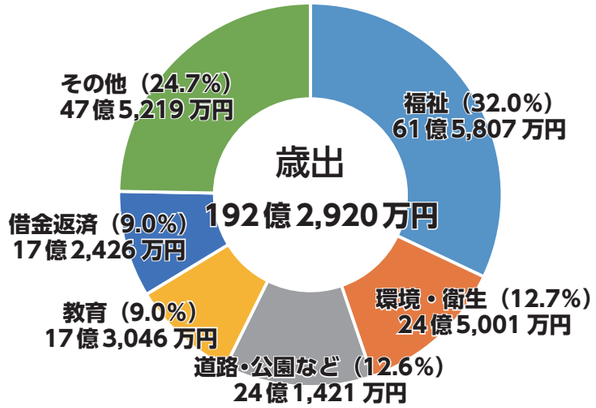
西脇市の平成29年度決算がまとまりましたので、一般会計、特別会計、企業会計の状況についてお知らせします。また、基金や市債の残高、健全化判断比率についても公表します。

◆問合せ　財政課（市役所内線388）

一般会計歳入



一般会計歳出



収支のバランス

平成29年度一般会計では、歳入総額が195億7,538万円、歳出総額が192億2,920万円で、平成30年度へ繰り越すべき財源の8,578万円を差し引いた2億6,040万円の黒字となりました。

また、特別会計と企業会計の決算概要は次のとおりです。両会計は特定の事業を行うために、一般会計とは分けて設置されるものです。

◆会計別決算

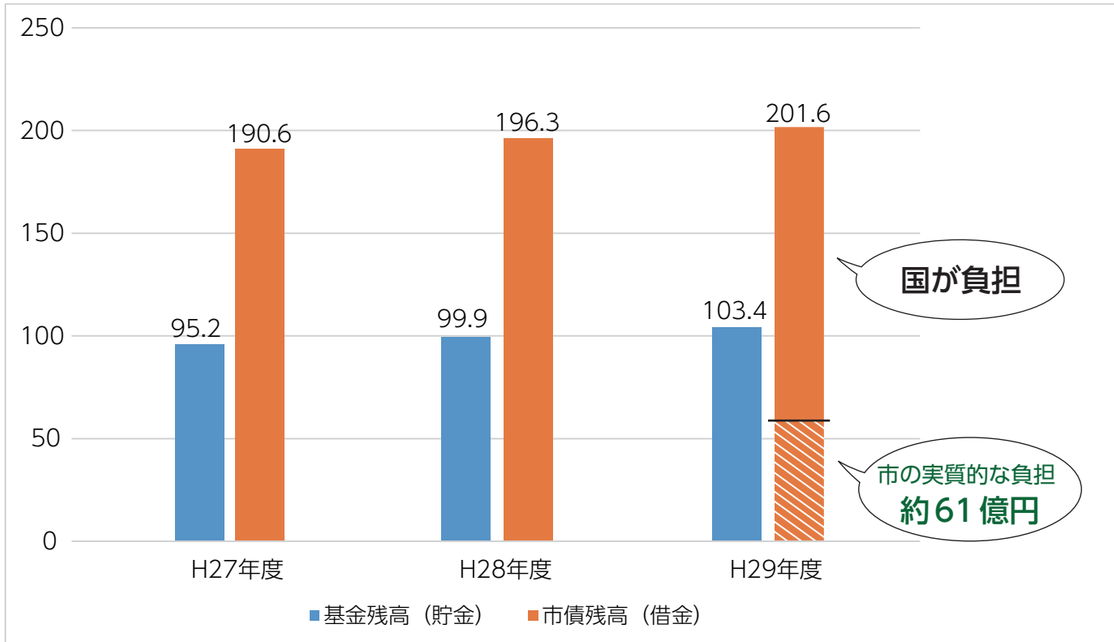
会　計		歳　入	歳　出	差し引き
一般会計		195億7,538万円	192億2,920万円	3億4,618万円
特別会計	国民健康保険	54億8,486万円	52億8,485万円	2億1万円
	学校給食センター	2億9,861万円	2億9,861万円	0円
	老人保健施設	4億6,628万円	4億6,628万円	0円
	公営墓地	650万円	650万円	0円
	介護保険	45億8,928万円	45億1,649万円	7,279万円
	茜が丘宅地供給事業	521万円	521万円	0円
	後期高齢者医療	5億7,180万円	5億5,756万円	1,424万円
	太陽光発電事業	7,136万円	7,136万円	0円
企業会計	水道事業	11億2,445万円	10億8,074万円	4,371万円
	下水道事業	24億3,191万円	21億3,468万円	2億9,723万円
	病院事業	81億5,489万円	81億5,140万円	349万円

貯金と借金

平成29年度末の一般会計ベースの基金残高（貯金）は103億3,678万円となり、昨年度と比べて3億4,870万円増加しました。一方、市債残高（借金）は201億6,174万円となり、5億3,297万円増加しました。市債残高のうち、合併特例債および緊急防災・減災事業債の70%が、臨時財政対策債の100%が、それぞれ交付税措置されますので、実質的な市の負担額は約61億円となります。

なお、特別会計、企業会計を加えた市全体の基金残高は109億6,123万円、市債残高は510億3,731万円です。

◆基金残高と市債残高（一般会計ベース／単位：億円）



財政状況

自治体の財政状況を示す「健全化判断比率」では、「健全段階」、「早期健全化段階」、「財政再生段階」の3段階に区分されます。

西脇市は平成29年度決算において、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれの指標も国が定める基準を下回り、前年度に引き続き「健全段階」となっています。また、企業会計においても資金不足は発生していません。

西脇市は健全財政を維持しています。

◆健全化判断比率

項　目	平成29年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	13.09%	20.00%
連結実質赤字比率	－	18.09%	30.00%
実質公債費比率	8.7%	25.00%	35.00%
将来負担比率	15.1%	350.00%	－

【指標の説明】

実質赤字比率…市の会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。

連結実質赤字比率…全ての会計を合算し、市全体の赤字の程度を示すもの。

実質公債費比率…財政負担を見るために、借金返済の大きさを指標化したもの。

将来負担比率…将来の負担を見るために、借金や今後支払いが見込まれる負債分を指標化したもの。